

令和3年1月吉日

各位

新刊『剣道の礼法と作法』のご案内

拝啓

新春の候、ご清祥のこととお慶び申し上げます。旧年中は弊誌『剣道時代』の出版に關しましては大変お世話になりました。感謝申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症によりこれまでにない社会生活を送ることになり、なかなか心落ち着かない日々だったと思います。こういうご時世だからこそ「思いやり」「謙虚な姿勢態度」という剣道精神が求められていると感じています。

さて、この度小社より馬場武典先生の『剣道の礼法と作法』が発刊されました。30年前、『剣道礼法と作法』（小社刊）を著した著者が、さらに形骸化する剣道の礼法・作法を嘆いて、“礼法・作法なくして剣道なし”と再び剣道の礼法と作法を取り上げ、真摯に剣道人に訴えるのが本書です。この剣道精神を後世に伝えていき、剣道の特性を一般の方々にも知っていただきたい一冊でもあります。関係者の皆様にぜひおススメいただくとありがたく存じます。

末筆ながら、貴連盟のご発展と皆様方のご健勝、そして佳き一年になりますよう祈念申し上げます。

敬具

体育とスポーツ出版社

現在小社への電話・FAX・ネットからのご注文は送料サービスキャンペーン中。さらに5冊以上のご注文には2割引きにもなります。なにかございましたら下記担当者までお問い合わせください。

定価 2,200円（税込） B5判 176ページ

【体育とスポーツ出版社】

135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 3階

担当 伊藤幸也

電話 03-3291-0911 FAX03-3293-7750

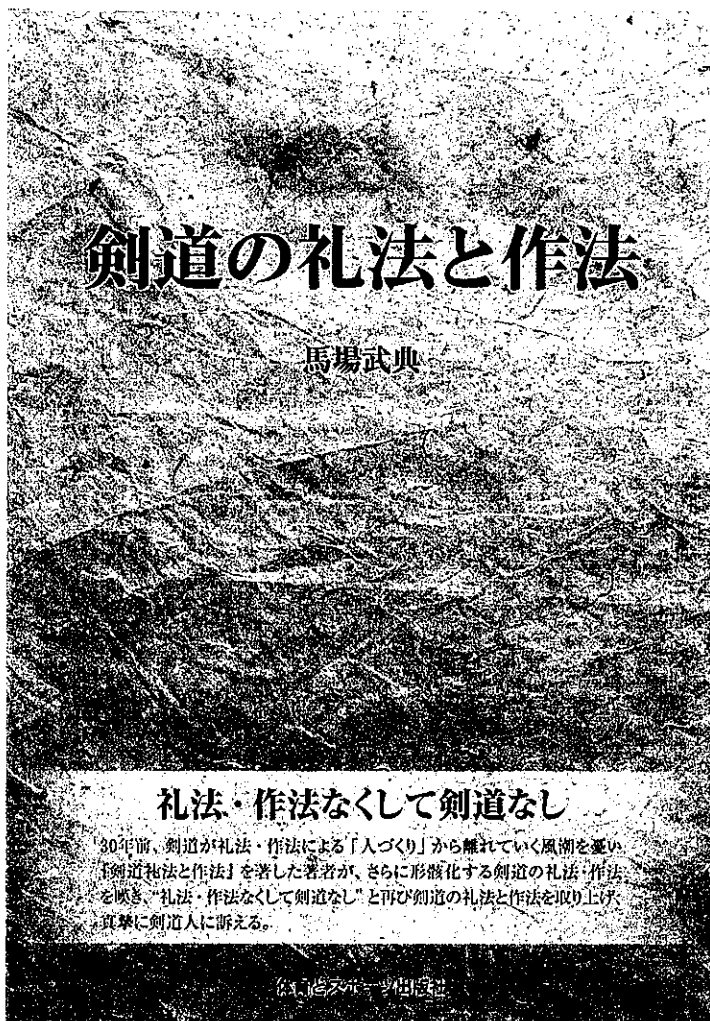
Eメール eigyobu@taiiku-sports.co.jp

ホームページ <http://www.taiiku-sports.co.jp>



剣道の礼法と作法

馬場武典 著



剣道の礼法と作法

馬場武典

礼法・作法なくして剣道なし

30年前、剣道が礼法・作法による「人づくり」から離れていく風潮を憂い「剣道礼法と作法」を著した著者が、さらに形骸化する剣道の礼法・作法を嘆き、「礼法・作法なくして剣道なし」と再び剣道の礼法と作法を取り上げ、真摯に剣道人に訴える。

（株）体育とスポーツ出版社

B5判 176 ページ 定価：2000 円 + 税

ISBN 978-4-88458-357-6

礼法・作法の分野を取り上げたのは、礼法・作法がどの時代のものよりも立派で、それによって剣道の地位が高まればと思ったからである。天覧試合であっても普通の稽古でも、立合の作法が群を抜いて立派であった持田盛二範士と、現代では警視庁の名剣士中村毅氏の立合の作法のように、それだけで感銘を受けるような礼法や作法が定着することを願って「剣道の礼法と作法」を取り上げた次第である。（「まえがき」より）

この剣道の礼法と作法において、モットーとして取り上げた「物を大切に」とか「思いやりのある」という教育は、現代の全人類が求めている「自然を大切に」とか「思いやりをもって」人に接するといった共通の目標と繋がっていかなければならない。

「現代剣道で手抜きされている礼法・作法を重視し、それを厳守することによって培われる品性により東洋の紳士国を再建する。そのために現代剣道を見直し、社会に貢献できる思いやりのある礼儀正しい日本人の育成に努めていかなければならない」

今の剣道のやり方では十分とはいえないであろう。剣道の幅広い分野の中でどの部分をもっと重視されるべきなのか。

平成が終わり新しい年号を迎えた今、敗戦から 70 年のスポーツ剣道をもう一度、今度は純粋な日本人としての目で見つめなおして、どの時代のものよりも優れたものに仕立て直していかなければならない。

これは、すべての剣道指導者に対する課題でもある。（本文より抜粋）

《発売記念》 小社への申し込み限定
電話・FAX・ネット・郵便払込票の注文は
送料サービス（他の商品との梱包も可）

お申し込み先

（株）体育とスポーツ出版社（営業部）

135-0016

東京都江東区東陽 2-2-20 3 階

電話 03-3291-0911 FAX03-3293-7750

E-mail eigyobu@taiiku-sports.co.jp

http://taiiku-sports.co.jp

注文受付中

【収録項目】

- 第一章 日本人と剣道
- 第二章 勝利至上主義の弊害
- 第三章 道場の意義
- 第四章 道場での礼法と作法
- 第五章 剣道用具の取り扱い方
- 第六章 立合の礼法・作法
- 第七章 稽古中の礼法・作法
- 第八章 見学者と審判員の礼法・作法
- 第九章 稽古後の礼法・作法
- 最終章 広い視野に立って